

原小学校4年生学校林授業

原小学校では、毎年総合の時間で学校林の整備・育成を行っています。8年前から始まったこの活動は、今年も4年生に受け継がれました。

9月30日、学校林整備作業に取り掛かるにあたり事前の学習会が開かれました。なぜこの活動を続けているのか、過去に先輩達が行った活動や林の大切さ等を、林業師の方から楽しく学びました。授業ではたくさんの質問が飛び交い、児童たちは「育樹」について真剣に考えていました。



10月5日には、学校林の整備作業が行われました。学校林完成当初に植えた苗が大きく育ち、現在植わっている木々は約1000本に及びます。児童たちは、約3000㎡の敷地に広がる腰の高さまで伸びきった雑草を見て驚いた様子でした。草刈りが始まると「鎌でも切れない草が多くて大変」と苦戦しているようでしたが、地面が見えるほど綺麗に刈り取りました。草の陰で見えなくなっていた木には日が当たるようになり、元気な姿を見せてくれました。



10月24日、八ヶ岳まるごと収穫祭が開催され、八ヶ岳中央農業実践大学の生徒たちによる野菜販売や手作りバター製作、ステージ発表が行われました。中でもかぼちゃのランタン作りは好評で、「子どもだけで簡単に作れるので楽しい」と、多くの来場者がオリジナルのランタン作りを体験しました。このほか、秋にまつわる模擬店や豚汁の振る舞い等も行われ、味覚で季節を感じる収穫祭となりました。→



～芸術の秋～

八ヶ岳クラフト市



10月10日～12日までの3日間、全国各地からクラフト作家が一堂に会する八ヶ岳クラフト市(秋の市)が開催されました。市では秋にちなんだ、きのこや紅葉等をモチーフにした芸術作品が数多く出展され、夏の市とは違った雰囲気で大変人気を博していました。

～運動の秋～

秋のいきいきウォーキング



10月18日、秋のいきいきウォーキングが行われ、約50名の参加者が八ヶ岳自然文化園の周辺を歩きました。この日は秋晴れの気持ちのよい気候で、絶好のウォーキング日和となりました。参加者は、講師の先生から習ったウォーキングのコツを意識しながら、紅葉で色づいた木々や景色を楽しんだりおしゃべりをしたりして歩いていました。

～食欲・実りの秋～

八ヶ岳まるごと収穫祭



人権擁護委員に田中菊利さん



10月7日、人権擁護委員の委嘱状伝達式が行われました。伝達式では、法務大臣から田中菊利さんが委員として委嘱され、任期を終えた戸田憲次さんが感謝状を伝達されました。田中さんの任期は10月1日より3年間となっており、地域の皆さんからの人権相談を受け問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済をします。また、地域(病院・施設等)や学校に訪問して人権について関心を持ってもらえるような啓発活動も行っていきます。



田中 菊利さん

第80回原村誕生会(前期)



10月9日に、第80回原村誕生会(前期)が地域福祉センターで開かれ、平成26年10月1日～平成27年4月1日までに生まれた17名のお子さんが出席しました。誕生会では、それぞれ希望していたファーストブックのほか、歯ブラシや図書館利用カード等の記念品が贈呈されました。また、歯科衛生士による歯の話を聞いた後記念撮影を行い、お子さんの健やかな成長を願いました。

地域の安心・安全を支える



原中学校 大規模改修工事完了

原中学校で行われていた大規模改修工事が、9月で完了しました。改修工事は、生徒の学ぶ環境の改善・整備を目的に、平成22年度から行われてきました。総事業費は、3億3556万円です。壁・床・天井の貼り替えや窓枠の入れ替え等の改修がされ、教室棟、技術棟、管理棟が綺麗に整備されました。



←原村・富士見町・茅野市の女性でつくる、青少年健全育成団体「茅野南諏地区更生保護女性会」が、内閣総理大臣表彰を受賞されました。

10月13日に五味村長を訪れ、受賞報告がありました。今回の受賞は安心・安全なまちづくり関係功労者として表彰されたもので、女性会では、子育て支援や薬物乱用防止、特殊詐欺被害防止活動などに取り組んできました。原村でも、オリジナルの寸劇を公民館などで上演し、啓発活動に力を入れてきました。笠井会長は、「今後も意欲的に活動していきたい」と話していました。